2017年11月6日発行
平福地域づくり協議会
http://hirafuku.net/

ひらふく地域づくりセンターだより 31

祝 利神城跡 国指定

佐用町教育長
平田秀三 氏

10月13日、念願であった「利神城跡」史跡指定の官報告示があり、正式に国指定史跡となりました。

教育委員会では昭和58年に町指定史跡となった後、平成26年国指定史跡への準備として、対象地域の国指定に向けた行為同意書の取得をはじめ、平成27年からは、利神城跡等国指定推進事業を実施してまいりました。

この指定は、長谷・平福の自治会長をはじめ地域づくり協議会の皆様、大字平福管理委員会の皆様等、多くの皆様の熱意により実現したものです。本当にありがとうございました。

しかし、国指定となった後が大切なのです。今後は利神城跡の保存活用計画を策定し、適切に保存していくとともに、「三日月陣屋跡」「上月城跡」「高倉山城」等、佐用に点在する数々の史跡を面でつなぎ、活用することが重要となってきます。

先日も学生となって都会に出た子どもが帰省した時こんな話をしてくれました。友達との会話の中で、「佐用の出身です。」と答えたら「あぁ、スプリングエイトのある町ですね。」と言われ、とっても嬉しかった反面、「スプリングエイトについてあまり知らない自分が恥ずかしかった。」と言っていました。

佐用を愛し、佐用を誇れる子どもたちを育てるためにも、佐用町教育委員会としましては、佐用の誇りである数々の史跡や遺跡に磨きをかけ、守り伝えることにこれからも尽力いたします。皆様のご協力、よろしくお願いします。

撮影：野村久雄 氏

平福納涼花火大会

7月初めより皆様にご協力を頂き、大会当日まで何度も打合せ、段取りに時間を割いて頂いた結果、8月14日、盛況のうちに事故もなく大会を終えることが出来ました。

今年は、川端屋敷や陣屋門のライトアップ、福引の復活、花火の数も増え、内容も盛り沢山でした。見物客も地域の方だけでなく、遠方からの人も毎年増えている傾向です。都会と比べて花火の数こそ少ないですが、目の前で見る花火の美しさ、迫力は格別だそうです。本当に皆様お疲れ様でした。

納涼大会実行委員長　春名政男

敬老会

隔年で地元開催している平福地区敬老会を、9月10日(日)平福体育館において67名の方をお迎えし、お祝いに駆けつけていただいた庵逧町長を初め、多くの来賓の方々と共に長寿をお祝いしました。

お楽しみのアトラクションは、前回に続き地元の人もメンバーに加わっている熟年エレキバンドグループ「OKB」のバンド演奏で始まり、懐かしい曲や迫力のある演奏を聞き、手拍子を取りながら口ずさんでいる方もおられました。

次に、西播磨高齢者文化大学の同好会として、創作踊りを中心に福祉施設等の訪問に活躍されているボランティアグループ「わくわく会」による小道具を沢山使ったゆかいな踊りをフロアーいっぱいに披露されました。

最後に、恒例となっている各集落代表者によるカラオケ大会を行ない、自慢のノドが披露され大きな拍手と、紙テープが舞台一面に舞っていました。

参加者の笑顔と笑い声が会場いっぱいに広がる中、次回の再会を約束し閉会しました。

なお、当日スタッフとしてご協力いただきました皆様には、本紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

（事務局）

神垣神社 秋季例大祭

10月9日(月)、延吉の神垣神社で秋の例大祭が行われました。いつもは静かな鎮守の杜に、子供たちの元気な声が響きます。

午前10時から祭典が始まると、集まった子供たちは、整列して神前に向い頭を下げ、御祓いを受けます。いよいよ子供奉納相撲の始まりです。本日の参加者は12名。ちびっこ力士たちは みんな元気いっぱい相撲をとってくれました。勝っても負けても、同じように「相撲の花」を受け取り、みんなうれしそうです。大勢の氏子のみなさんが見守る中、境内は拍手と歓声につつまれます。

五穀豊穣を感謝し、氏子の健康と子供たちの健やかな成長を祈願し、今年の秋祭りも、盛大に行うことができました。

利神ふれあいキャンプ

第9回「利神ふれあいキャンプ」が7月8日(土)、9日(日)の2日間、「ゆう・あい・いしい」において開催されました。今年も利神小児童83名中79名のたくさんの子ども達が楽しく参加しました。

今回のキャンプから、「子ども達だけでなく、参加する全ての方々にとって、かけがえのないキャンプとなるように」と改善がなされました。まず、キャンプに参加する全ての児童と大人を8班に分け、班ごとに活動することで、誰もがキャンプを体験できるようにしました。そして、プログラムの進行はNPO法人生涯学習サポート兵庫の榎本英樹氏に依頼しました。また、スタッフの人員も見直し、少人数で効率良く活動するようにしました。

以上のような改善を加え、テント設営、オリジナルバンダナ作り、夕食作り(バリバリスープパスタ)、キャンプファイヤーを参加者全員が体験しました。夕食のバリバリスープパスタは大人たちには少し不評でしたが、初めてみんなで作ったこともあって子ども達にはまずまずだったようです。

初めての試みと当日のあいにくの天気によって、スタッフはたいへん疲れたようですが、キャンプ終了後には、これまでとは違った達成感が得られたようです。

キャンプを楽しみにしている子ども達のために、今回の改善を活かして、来年度も開催が予定されています。

庵盆踊り

8月16日(水)お盆の最後を締めくくる庵盆踊り大会が、吾勝速日神社にて行われました。

例年、盆踊りに先駆けて庵子ども会が打ち上げ花火をあげます。その音が鳴り響く中、今年も次々に地域の方が神社に集まりました。境内に設置された櫓を中心に、盆踊り保存会のお囃子に合わせてしばし踊り明かしました。

また来年も地域の皆さんと一緒に元気に参加できることを祈り、静かに盆踊りを終えました。

お月見会

9月16日(土)、恒例の「宿場町ひらふくお月見会」が、節目の第10回を迎えました。台風21号の接近で小雨降る中、開演時刻を18時から14時に繰り上げて開催されました。

冒頭、実行委員会の中野惠子さんが、第10回を迎えることのできた喜びと、会を支えてくださった方々への感謝を述べられた後、教岸寺本堂の荘厳な雰囲気の中で、歌謡詩舞、腹話術、お琴と尺八の調べにのせた絵ものがたり「モチモチの木」など、盛り沢山の演目が披露されました。生憎の天候でしたが、その分舞台と客席の距離が近くなり、和やかで優しい、とても気持ちの良いお月見会でした。